

〔最上地区実践記録〕



○次世代の地域づくり中核人材育成事業

1. 事業計画

(1) 組織

	氏名	所属団体・勤務先等	備考
青年ファシリテーター		東北芸術工科大学 2年	
		東北芸術工科大学 2年	
		東北芸術工科大学 2年	
		東北芸術工科大学 2年	
助言者	伊藤 洋一	新庄市役所商工観光課 企業立地・商工振興室長	ボランティア活動アドバイザー
事務局	栗田 忠男	最上教育事務所 社会教育課長	
	八城 良美	最上教育事務所社会教育課主任社会教育主事	
	高橋 裕美	最上教育事務所社会教育課 社会教育主事	
	今田 博之	最上教育事務所社会教育課 社会教育主事	

(2) 目的

- ① 地域活動に興味・関心を持っている高校生に対して、ワークショップや体験活動などをする機会を提供し、高校生の地域活動に対する理解を深める。
- ② 高校生が地域の中でできる様々な活動を実践することを通して、個々のスキルアップを図るとともに、地域づくりの次世代のリーダーとしての資質を高める。



ジモト大学パンフレット

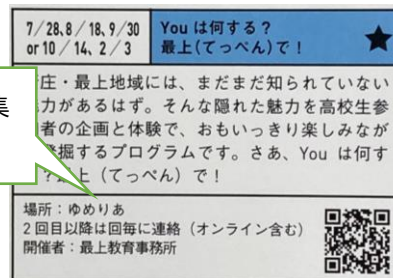
(3) 内容および実施方法

- ① 期間 7月～2月
- ② 内容 青年ファシリテーターの助言のもと、新庄・最上地域の魅力を新発見・再発見できる様々な楽しい企画を考え、実践する。フィールドは、新庄・最上の全地域。ジャンルを問わず、自由な楽しい発想で、1日でできることを企画、運営する。
- ③ 募集ちらし

高校生への募集チラシ



ジモト大学の参加募集パンフレットに掲載



2. 各種会議

(1) 主な内容等

①第1回青年ファシリテーター企画者会議

日時：令和5年8月4日（金）

会場：オンライン会議

参加者：青年F 2名、助言者1名、事務局4名（計7名）

主な内容：自己紹介・事業概要説明・高校生参画者への支援方法の検討

青年ファシリテーターとの顔合わせを行い、自己紹介や事業概要の説明を行った。また、助言者である伊藤洋一氏から高校生への支援方法についてのアドバイスなどをいただいた。

②第2回青年ファシリテーター会議(兼)第1回高校生参画者会議

日時：令和5年8月18日（金）

会場：オンライン会議

参加者：高校生参画者2名、助言者1名、事務局4名
（計7名）

主な内容：・プログラム説明（高校生企画者へ）
・企画、運営の支援についての説明等
・スケジュール確認
・企画の検討



高校生からの自己紹介や事業概要の説明を行った。最上地区を舞台として、やりたいことを実際にいきなり行い、発見した魅力を発信するために、どのような活動をするか検討することを説明した。その後、企画書の作成を行った。

③第3回青年ファシリテーター会議(兼)第2回高校生参画者会議

日時：令和5年9月1日（金）

会場：ゆめりあ会議室・オンライン会議

参加者：青年F 1名、高校生参画者2名、
助言者1名、事務局4名（計8名）

主な内容：高校生の企画について検討

高校生がそれぞれに考えた実践活動について、どのように活動していくかを検討した。同じ日に開催するという案もあったが、実施への負担感等を考え、鉄道旅の企画を10月14日（土）に、ラーメン作りの企画は、最上伝承野菜が育つ11月5日（日）に実施することを決めた。

④第4回青年ファシリテーター企画者会議(兼)第3回高校生参画者会議

日時：令和5年10月2日（月）

会場：ゆめりあ会議室・オンライン会議

参加者：青年F 4名、高校生参画者2名、事務局4名（計10名）

主な内容：・高校生参画者の企画書の紹介
・青年ファシリテーターからのアドバイス

それぞれの企画について、実施に向けた検討会を行った。10月14日（土）の企画は「奥の細道最上（てっぺん）ライン」とし、実施する際のルールの確認や乗り降りする電車時刻の検討、新庄駅に戻ってからのまとめの活動について検討した。

11月5日（日）の活動では、買い出し先をどのようにするか、調理場所をどこにすると買い物してからの調理が可能かなど、実施場所や買い物先の検討を行った。また、企画の中でつくるラーメンを最上総合支庁内食堂の「千起」さんに提案することを話し合った。

⑤臨時青年ファシリテーター企画者会議(兼)高校生参画者会議

日時：令和5年10月13日(金)

会場：ゆめりあ会議室・オンライン会議

参加者：青年F 1名、高校生参画者2名、事務局4名(計7名)

主な内容：・実施計画の最終確認

・青年ファシリテーターからのアドバイス



⑥実践活動Ⅰ「奥の細道 最上(てっぺん)ライン」及び第5回青年ファシリテーター企画者会議(兼)第4回高校生企画者会議

日時：令和5年10月14日(土)

会場：最上広域交流センターゆめりあ及び陸羽東線沿線

参加者：青年F 2名、高校生参画者2名、事務4名(計8名)

※内容の詳細については、「3. 地域活動プログラム」を参照

⑦第6回青年ファシリテーター企画者会議(兼)第5回高校生参画者会議

日時：令和5年10月18日(水)

会場：最上広域交流センターゆめりあ会議室

参加者：高校生参画者2名、事務局4名(計6名)

主な内容：11月5日(日)の企画について検討を行った。

11月5日(日)「最上(てっぺん)ラーメンづくり」の実施場所を決定し、準備物、投票の仕方、レシピのまとめ方などを検討した。

⑧第7回青年ファシリテーター企画者会議(兼)第6回高校生企画者会議

日時：令和5年10月28日(土)

会場：オンライン会議

参加者：青年F 2名、高校生企画者1名、事務局3名(計6名)

11月5日(日)当日の流れの確認を行った。当日だけでレシピを考案することは時間がかかると思われるため、事前に各々がおいしそう・面白そうなレシピを考案してくることとし、ライングループに、事前に試作したラーメンとレシピを掲載しておくことで、当日の検討材料にすることとした。

⑨実践活動Ⅱ「最上(てっぺん)ラーメンづくり」

日時：令和5年11月5日(日)

会場：最上総合支庁 調理室

参加者：高校生参画者1名、高校生参加者1名、お食事処千起の主人、連携支援室1名
事務局4名(計8名)

※内容の詳細については、「3. 地域活動プログラム」を参照

※実践活動は、「新庄・最上ジモト大学」のFacebook、Instagramに掲載

3. 地域活動プログラム

(1) 奥の細道 最上(てっぺん)ライン

<日時・会場> 令和5年10月14日(土)
最上広域交流センターゆめりあ・最上町内陸羽東線沿線

<高校生参画者> 2名

<活動内容>

陸羽東線の最上町の駅名が書かれたくじを引いて、新庄駅から引いた駅名の駅に出かけ、その駅の周辺を散策し、これまで知らなかった新たな魅力を発見するという企画。くじの結果、1つの班は赤倉温泉駅、もう一方の班は大堀駅になった。

赤倉温泉駅チームは、赤倉温泉街まで歩き、赤倉ゆけむり館等を見学、その後アートスペース富翔を見学した。

大堀駅チームは、大堀駅周辺を散策後、向町駅まで歩いた。向町までの道のりで太郎田観音明学院や雷神大杉を見ながら、向町駅に向かった。

新庄駅に帰ってきてから、各班が各駅の周辺マップを作成し、活動のまとめを行った。

令和5年度次世代の地域づくり中核人材育成事業(兼)新庄・最上ジモト大学

Youは何する?最上(てっぺん)で!



「奥の細道 最上(てっぺん)ライン」

- | | |
|-------|--|
| 1 趣 旨 | 最上地区を走る陸羽東線の魅力を発見し発信することで、電車利用者を増やし、赤字路線の解消の一助とする。 |
| 2 主 催 | 山形県教育委員会 |
| 3 共 催 | 新庄・最上ジモト大学 |
| 4 主 管 | 最上教育事務所 |
| 5 期 日 | 令和5年10月14日(土) |
| 6 会 場 | 最上広域交流センター「ゆめりあ」
〒996-0024 新庄市多門町1-2 TEL0233(28)8888
陸羽東線の新庄駅～堺田駅の駅周辺 |
| 7 対 象 | Youは何する?最上(てっぺん)で!企画参加者・ジモト大学参加者 |
| 8 経 費 | 各 自 (参考 新庄から堺田往復(最も遠い駅の場合)の往復料金1,540円(片道770円)、その他に昼食代、買い物代などを準備してください。)
※保険については、ジモト大学参加者は登録時に加入しています。それ以外の高校生は、地元大学に登録するかイベント共催(24円)に加入して頂きます。 |



赤倉温泉駅付近で見つけた吊り橋

9 日程・内容

9:30 9:35 9:45 10:00

14:12 15:30 16:00

<活動内容>

- ① 降りる駅を決めるくじ引き
- ② 降りた駅周辺の探索
- ③ 最上の駅周辺魅力発見マップを作製し、まとめの活動
- ④ 後日最上広域交流センターゆめりあに、作った魅力発見マップを掲示



新庄駅（最上広域交流センターゆめりあ）で、どの駅に向かうかくじ引き。



大堀駅の駅舎内で、どこに向かうか検討した。



魅力を探して、移動中。秋晴れの中隣の駅（最上駅）まで移動した。



赤倉温泉内の「赤倉ゆけむり館」で温泉卵をつくりながら休憩。



魅力発見マップに活動内容をまとめた。



「最上広域交流センターゆめりあ」花と緑の交流広場に掲載し、情報を発信した。

(2) 最上(てっぺん) ラーメンづくり

<日時・会場> 令和5年11月5日(日) 最上総合支庁

<高校生参画者> 1名

<高校生参加者> 1名

<活動内容>

旬の最上伝統野菜を使ってラーメンをつくり、その中から投票により最上(てっぺん)ラーメンを決め、決めた最上(てっぺん)ラーメンを最上総合支庁内食堂の「お食事処千起」さんに提案するという企画。事前に青年ファシリテーターからのアイデアも取り入れ、4種類のラーメンを試作し、参加者一同で試食しました。当初は、最も票を集めた1つを「千起」さんに提案予定だったが、4種類のアイデアをすべて取り入れたものを3種類のラーメンとして、後日「千起」さんの週替わり定食として提供していただいた。まとめの活動として、作った4種類のレシピを作成した。

令和5年度次世代の地域づくり中核人材育成事業(兼)新庄・最上ジモト大学

Youは何する?最上(てっぺん)で!

「最上(てっぺん) ラーメン作り」



- 1 趣 旨 最上地区でつくられるものを使って、おいしいラーメンを作り、発信することで最上地区の野菜・食材からこういうものを作られることを知ってもらおう。
- 2 主 催 山形県教育委員会
- 3 共 催 新庄・最上ジモト大学
- 4 主 管 最上教育事務所
- 5 期 日 令和5年11月5日(日)
- 6 会 場 最上総合支庁舎 調理室 〒996-0002
新庄市金沢字大道上2034
- 7 対 象 Youは何する?最上(てっぺん)で!企画参加者
- 8 参 加 料 (予定) 500円
※保険については、ジモト大学参加者は登録時に加入しています。それ以外の高校生は、ジモト大学に登録して頂きます。

9 日程・内容(予定)

9:00 9:10 9:30 11:00 12:00 13:00 14:30 14:40 15:00

集 合 ・ 受 付	開 会 式	計 画	食 材 の 購 入	調 理 開 始	試 食 会	投 票 会	片 付 け	ま と め の レ シ ピ 作 成	閉 会 式	終 了 ・ 解 散
-----------------------	-------------	--------	-----------------------	------------------	-------------	-------------	-------------	---	-------------	-----------------------

10 服装 調理に適した服装(エプロン、三角巾、マスク)

11 持ち物 参加費・飲み物

<活動内容>

- ① 事前に計画したものも含めて、作るラーメンを計画。
- ② 必要な食材の買い物
- ③ 最上(てっぺん)ラーメンづくり。
- ④ 試食を行い、投票して、最上(てっぺん)ラーメンを決める。
- ⑤ まとめレシピをつくる。



令和5年度次世代の地域づくり中核人材育成事業
(兼)新庄・最上ジモト大学

Youは何する?最上(てっぺん)で!

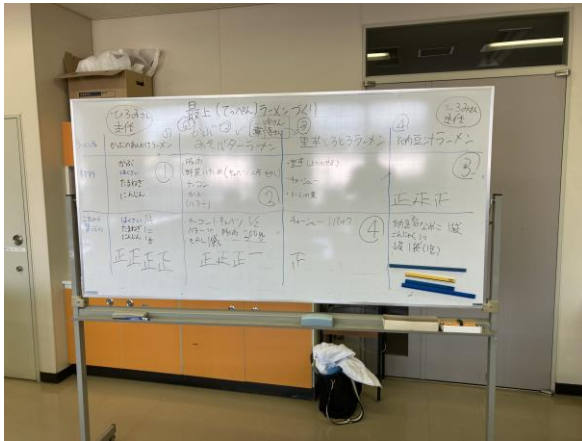
最上(てっぺん)ラーメンづくり

上記事業に参加していただいた山形県立東校学館高校1年 高橋一吹さん・芦原章梧さん、青年ファシリテーターの小松真由さん・白木里奈さんが考えた「最上伝統野菜」を使ったラーメンを最上総合支庁食堂「お食事処千起」の週替わり定食で提供します。ぜひ食べてみてください。



- 11/13~11/17
・最上かぶのあんかけラーメン
- 11/20~11/24
・米さずべ芋の納豆味噌ラーメン
- 11/27~12/1
・最上かぶとヤーコンの味噌野菜ラーメン

千起さんに掲載したポスター



ホワイトボードを使って、作るラーメンを検討。
4種類のラーメンを試作することに決定。



普段なかなか料理はしないとのことだが、手際よく調理に取り組んだ。



考案した「最上かぶとヤーコンの味噌野菜ラーメン」



高校生企画者が、考案理由などを説明し、4種類のラーメンを試食



「お食事処千起」で提供された「最上かぶとヤーコンの味噌野菜ラーメン」



「米さずべ芋の納豆ラーメン」アンケートには、米さずべ芋を初めて食べたという方が多くいた。

(3)最上地区ヤングボランティア交流会 & フェスティバルへの参加による「You

は何する？最上(てっぺん)で！」の成果発表とブース運営

<日時・会場> 令和6年2月3日(土) 最上広域交流センターゆめりあ

<高校生企画者> 2名

<高校生参加者> 7名

<活動内容> 最上地区ヤングボランティア交流会&フェスティバルに参加し、これまで実施した企画をポスター発表で紹介した。午前中は、交流会に参加し、午後からは、フェスティバルのなかのブース運営を行った。ブースは3つの内容を企画し実施した。1つは、最上ラインの活動から電車のペーパークラフトづくり。2つめは、最上ラーメンづくりの活動からオリジナルラーメン工作。3つめに新規参加高校生の希望から、トランプ、ウノのカードゲームを参加者に体験してもらった。



「Youは何する？最上(てっぺん)で！」ブースで工作やカードゲームをしながら、子ども達と交流した。

4. 事業振り返りとまとめ

(1) 成果<○>と課題<▲>

=目的について=

○それぞれの高校生企画者が目的として掲げたことについて達成することができた。鉄道の企画では、陸羽東線沿線の魅力発見マップとして、最上広域交流センターゆめりあを訪れた方に発信した。また、ラーメンの企画では、「お食事処千起」さんでのラーメン提供を通して、たくさんの方々に最上伝統野菜の魅力を伝えることができた。

▲高校生企画者参加が3名と少なかった。各自の企画を進めることにはプラスの点もあったが、企画に対して意見を伝え合うことや一緒に活動することでは、もっと参加人数が多いことが望ましかった。企画と企画への参加共に参加者の募集について工夫したい。

=運営について=

○高校生企画者と事務局、青年ファシリテーターがお互いに意見や考えを伝えながら、企画を進めることができた。

▲オンライン会議を中心に企画会議を進めた。どこからでも参加しやすいという利点はあったが、場合によって参集とオンラインとを使い分け、より話し合いのしやすい環境をつくることも大切であった。また、臨時の会議をすることもあったので、計画的に進めていく必要があった。

(2) 参加した高校生から

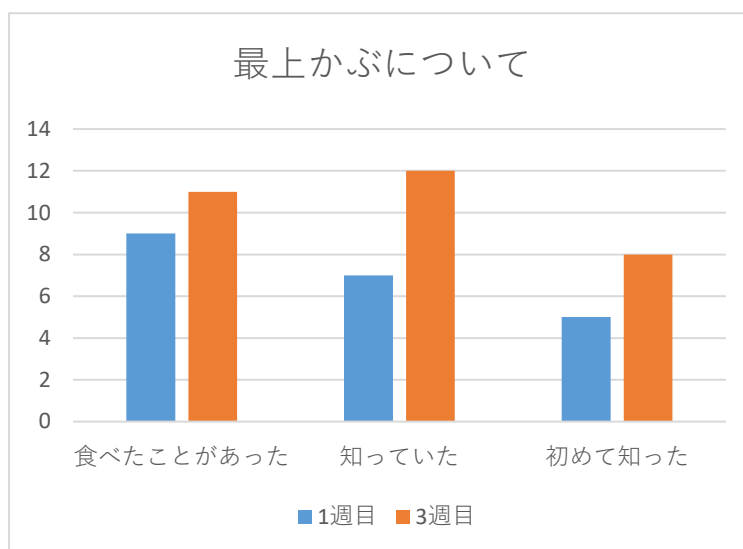
- ・計画の難しさやそれを乗り越えた時の楽しさが分かった。
- ・料理をまともにしたことのない自分が、地元の食材コーナーを見るようになり、食材の活用法を考えるようになった。
- ・創意工夫で、地産地消は可能であることが分かった。

(3) 最上（てっぺん）ラーメンを食べてくれた方のアンケートから

- ・とてもおいしかったです。今後も伝承野菜を用いたメニューを楽しみにしています。
- ・毎週工夫を凝らした伝承野菜のメニュー提供、ありがとうございます。いつも、おいしくいただいています。
- ・焼いたかぶの香ばしさとみそがとてもあっておいしかったです。ヤーコンの甘みも良かったです。
- ・この度は、貴重な体験をさせていただきありがとうございました。息子が考えたレシピをこのようにおいしくアレンジしていただいた千起様、スタッフ様にも感謝いたします。ごちそう様でした。

(企画した生徒の保護者)

※延べ67名の方からアンケートに回答いただいた。



(4) 青年ファシリテーターから高校生の皆さんへ応援メッセージ

K・M (東北芸術工科大学2年)

青年ファシリテーターを務めさせていただいた、こまです！最上ラーメンづくりには残念ながら参加することはできなかったのですが、企画ができるまでのプロセスに参加することができたのは、とても貴重な経験でした。企画で考案されたラーメンを、実際に最上総合支庁に伺い、食べてみたのですが、とても美味しかったです。また、最上ラインの企画では、実際に参加し、高校生や職員の方と話しながら、最上地域を探索したことで、知らない土地であった場所に、みなさんとの思い出ができ、愛着が湧くようになりました。お二人とも、学業との両立もあり、実施まで大変だったと思いますが、おつかれさまでした。

こういった自分で企画立案から実施までの経験ができる環境は、地方ではあまりないと思うので、今後も自分のやりたい思いに忠実に、様々なことに挑戦してほしいと思います。また、機会がありましたら、ぜひよろしく願いいたします。短い期間でしたが、ありがとうございました。

S・Y (東北芸術工科大学2年)

今回「Youは何する？最上（てっぺん）で！」で初めてファシリテーターとして参加させていただきました。活動に深く関わることができませんでしたが、地域に対して熱い思いを持って活動している高校生の皆さんの様子から私自身も良い刺激をもらえたように感じます。また、この活動に参加したことが新庄を知る良い機会にもなったように感じます。自分たちで企画して実行するまでにさまざまな課題にぶつかり、スムーズに行かないことが多々あったかと思いますが、実行するところまでできたことは大きな自信になったかと思っています。このような活動は、地域にも自分にも良い影響を与えると思うので引き続きがんばって欲しい

と思います。今後もこのような活動がありましたら、ぜひ関わらせて頂きたいと思っているのでよろしくお願いします。

S・I（東北芸術工科大学2年）

今回はこのような貴重な機会をいただき誠にありがとうございます。「Youは何する？最上（てっぺん）で！」に参加したことで様々な学びがありました。自分にとって初めての試みばかりでしたので、今思えば色々と至らぬ点もあったかと思えます。ですが自分とは違う立場の方々と共に活動していく中で新しい価値観に触れ、新しいまちの一面を知る度に何度も「最上のことを何も知らないなあ」と実感していました。いつかゆっくり最上を観光したいと思うきっかけにもなったこの活動は、とても有意義で充実した時間でした。是非また機会があれば参加したいです。

S・R（東北芸術工科大学2年）

今年度ファシリテーターとして関わらせていただき、ミーティングを重ねて高校生や地域の大人の方々と大学生と一緒に企画をつくりあげていきました。

オンラインでのみの参加できたが、企画をつくりあげる上で高校生のやりたいやワクワクを引き出し話し合いの場に還元させていくこと、大学生という大人より少し身近な存在として何かしらのエッセンスを加えることができたのであれば嬉しいです！

今回は大学の授業を通しての参加となり、大学で学んでいることをアウトプットできる良い機会となりました。今後も高校生の活躍を祈っています！

5. 参加者アンケート 回答者数：10名

問1 このプログラムを選んだ理由を教えてください。（複数選択可）

- ・プログラム内容に興味・関心があったから。6
- ・地域の人と関わりをもてそうだったから。3
- ・先生や親などから勧められたから。3
- ・参加しやすい日程、場所だったから。3
- ・友人が選んだから ・その他（招集されたから）

問2 どのようなことを学んだと思いますか。

- ・計画の難しさやそれを乗り越えた時の楽しさ。
- ・料理をまともにしたことのない自分が、地元の食材コーナーを見るようになり、その食材の存在自体を初めて知ったり、その活用を考えたりした。
- ・創意工夫で地産地消は可能であること。
- ・地域のいろんな人とのかかわり方。
- ・地域の人が交流のためにどのような活動を行っているのかを学んだ。
- ・地域の人がそのような交流をしているのを直に見て、実感することができた。
- ・人とかかわる楽しさを学べた。
- ・様々な人とのコミュニケーションの取り方を学べた。
- ・人との交流の楽しさを学べた。
- ・地元には何があるのかや、ボランティアの大切さ。

問3 良かった点を教えてください。（複数選択可）

- ・今まで知らなかった地域の魅力を知ることができた6
- ・活動に参加して自分自身が成長できた。6
- ・地域の大人の人と活動できてよかった。6
- ・普段、学校ではできない経験ができた。6

- ・他校の生徒との交流の輪が広がった 3
- ・将来を考えるきっかけになった

問4 もっと地域のことを勉強したり、地域とかかわりを持ちたいと思いましたが。

- | | | | |
|------------|---|-----------|---|
| 1. とてもそう思う | 4 | 2. そう思う | 6 |
| 3. あまり思わない | 0 | 4. 全く思わない | 0 |

問5 またこの事業に参加したいと思いましたが。

- | | | | |
|------------|---|-----------|---|
| 1. とてもそう思う | 2 | 2. そう思う | 8 |
| 3. あまり思わない | 0 | 4. 全く思わない | 0 |

問6 どのような事業があったら、また参加したいと思いますか。

- ・もう少し短い期間で出来るもの。
- ・その時に考えてみて、やりたいことをやる事業。
- ・地域とのかかわりが強く、面白そうなもの。
- ・何かをつくって教えたりするプログラム。
- ・子ども達と身体を動かして遊べるプログラムがあれば楽しいと思いました。
- ・小さい子とかと交流があるとまた参加したいと思います。
- ・他校との交流が深まるプログラム
- ・もっと地域の方と交流できるような活動。・課外活動。
- ・いろいろな人と関われるプログラム。

問7 将来、地元とどのように関わっていきたいですか。

(問8 問7の理由を教えてください。)

- ・地元からいったん出るがいずれ地元に戻ってきたい。 5
(・他の所に住んで最上地域にないものを探したいから。)
- (・自分から地域活性化の意識を持たないと、現状が変わらないから。)
- (・新庄が好きだから) (・地元が好きだから)
- (・自分の住んでいた新庄市は、一番落ち着くから。)
- ・地元には残らないが何らかの形で地元に関わっていきたい。
(・なりたい職業が地元にないため。)
- ・地元に残りたくない
(・他の地域に興味があるから。)
- ・まだわからない 3
(・人生は安定しないから。)
- (・大学は山形を出ようと思っているが、その後のことは未定のため。)
- (・自分のやりたいことをして生活したいと思っているけど、あまり残りたいとか考えていないから。)

○未来の参画者養成事業

1 開催要項とチラシ

(1) 開催要項

- 1 趣 旨 地域の課題を解決したり、魅力を発信したりしてよりよい地域社会をつくっていく上で、中学生などの青少年も地域の一員として、ボランティア活動などを通じた活躍が期待されています。本セミナーでは、交流やボランティア体験などを通じて、ボランティアの意義や楽しさについて理解を深め、ボランティア活動や地域貢献活動への意欲と実践力の向上を図っていきます。
- 2 主 催 山形県教育委員会
- 3 共 催 最上地区生涯教育推進協議会
- 4 主 管 最上教育事務所
- 5 期 日 令和5年8月2日(水) 9時30分～16時15分(受付9時～)
- 6 会 場 最上広域交流センター「ゆめりあ」他 〒996-0024 新庄市多門町1-2
TEL0233(28)8888
- 7 対 象 最上地区の中学生 40名程度
- 8 参 加 料 600円(保険代・弁当代)
- 9 日 程・内 容

8/2 水	9:30	10:00	10:30	11:00	12:20	13:00	16:00	16:15
	受付	開講式	講話	紹介 サークル	スキルアップ講座	昼食	フィールドワーク	閉校式

※日程は都合により変更となる場合もあります。あらかじめ御了承ください。

- 10 服 装 活動できる動きやすい服装・歩きやすい靴
- 11 持 ち 物 参加費、筆記用具、飲み物(水筒またはペットボトル)
- 12 申 込 み (1) 参加を希望する生徒は、チラシに添付されている「参加申込書」に必要事項を記入し、7月12日(水)まで担任の先生に提出してください。
(2) 学校ごとに地域学校協働活推進員等を通して、各市町村教育委員会青少年ボランティア担当者まで提出してください。
- 13 申込期限 令和5年7月18日(火)(最上教育事務所締め切り)
- 14 そ の 他 (1) 当日撮影する写真は、記録集やポスター等で活用させていただく場合があります。
(2) 送迎が必要な場合は、保護者の方にご対応願います。
(3) 参加申込書に記載された個人情報等は、本事業のみに使用いたします。
- 15 問合せ先

最上教育事務所社会教育課 担当：高橋裕美 TEL 0233(29)1442

令和5年度 未来の参画者養成事業

「最上地区 中学生ボランティアセミナー」



踏みだそう はじめの一歩！



日時：令和5年8月2日（水）
会場：ゆめりあ 他
対象：最上地区中学生：40名程度
高校生スタッフ：10名程度



学校申込み締め切り
7月12日（水）
教育事務所申込み締め切り
7月18日（火）



スキルアップ講座、講話、ボランティア活動の体験など盛りだくさんの企画です。高校生ボランティアサークルで活動している高校生と一緒に、ボランティアについて楽しく学んでみませんか？



問い合わせ：最上教育事務所 社会教育課（高橋）TEL 0233-29-1442

Question:最上地区には全市町村に高校生ボランティアサークルがあります。それぞれユニークなサークル名がついていますが、その名前は何でしょう？（ヒントはこの中のイラストにあります。）セミナー当日も、ボランティアサークルを紹介します。

2 事業日程

令和5年度最上地区中学生ボランティアセミナー日程表

8月2日(水)		
時間	プログラム	場所
9:00	受付	アベージュ前
9:30	【開講式】 進行:八城主任 1 開会 2 主催者あいさつ(栗田課長) 3 指導者自己紹介 4 日程説明(高橋裕) 5 閉会	アベージュ
10:00	【ボランティア講話】 齋藤 彰 氏	アベージュ
10:30	【ボランティアサークル紹介】 ※4サークルずつ2回に分けて実施	会議室
11:00	【スキルアップ講座】 A 工作・折り紙 1班・2班・3班 B 図書館 4班 C アイスブレイク 5班・7班 D モルック 6班	A 雪の里情報館 B 新庄市立図書館 C ゆめりあ会議室 D 交流広場
12:20	昼食	ゆめりあ会議室 など
13:00	【フィールドワーク】移動開始 ①はぐくみ ⑤コスモスロード→新庄学童へ ②明倫学童 ⑥サロン→明倫学童へ ③新庄学童 ⑦万場町山車 ④図書館	各活動場所へ ①はぐくみ ②明倫学童 ③新庄学童 ④新庄市立図書館 ⑤指首野川(堀端町) ⑥吉袋公民館 ⑦万場町公民館
15:30	※ゆめりあに戻り次第、振り返りの記入をする	アベージュ
15:50	【閉講式】 進行:主任 1 開会 2 修了証授与(栗田課長) 3 講評(青年の家 齋藤研修課長) 4 参加者代表感想発表 5 主催者あいさつ(沼澤最生協会長) 6 諸連絡(高橋裕) 7 閉会	アベージュ
16:15	記念撮影	
	※帰宅確認(保護者送迎以外の参加者)	

3 参加者の感想

フィールドワーク：放課後児童クラブ

- 私は普段小さい子と触れ合うことがあまりありませんでした。けれど、今日、学童の子どもたちと触れ合うことで、とても楽しい時間を過ごすことができ、良かったです。
- 放課後児童クラブのみなさんと折り紙や工作をして、とても喜んでくれていてうれしかったです。そして、子どもたちはとても元気で、教える時とても大変でした。あまり小さい子と関わることがないので、とても貴重な体験ができて良かったです。また機会があったら参加したいと思いました。



フィールドワーク：コスモスロード（講話）

- ボランティアをしたら、いろいろな人と仲良くなったり交流したりできて、いろいろな人が笑顔になれました。地域の人の気持ちを聞くこともできて良かったです。
- 今日のセミナーを通して、初対面の人とのかかわり方を学びました。また、コスモスロードを創る会の方の話聞いて、自分の知らないところで、少しでも環境を良くしようとしている人がいることを知ることができました。
- ボランティアにもいろいろな種類があり、そのためにどのような活動をしているのかが分かりました。ボランティアセミナーに参加してみて、ボランティアとは何かを学ぶことができました。アイスブレイクなどのコミュニケーションの取り方も知ることができて、これから活用してみたいと思いました。
- ゴミなどがあつたら拾い、川を守る行動をしていきたいと思いました。
- 私たちが普段生活している中でできることがたくさんありました。川をきれいにすることで、いろいろな植物が生えて、生物も育つことができるということを学びました。

フィールドワーク：山車作り



- スキルアップ講座のアイスブレイクで、お互いのことを知れて緊張がほぐれてからフィールドワークに入れたので良かったです。山車作りの大変さが分かりました。自分の住んでいる地域の山車作りにも参加したいと思いました。夏休みの1日を有意義な日にできたので良かったです。
- アイスブレイクをしたり、山車に付ける短冊を作ったりしました。山車作りについては、人手が足りなくなっていることを知りました。

自分が住んでいる地区は山車作りは行いませんが、機会があったら積極的に参加したいなと思いました。アイスブレイクでは、いろいろなゲームを知ることができたので、それを学校などで生かしたいなと思いました。

フィールドワーク：図書館

- 地域ごとにたくさんのいろいろなボランティアがあり、たくさんの方がボランティア活動に参加していることが分かりました。図書館では、本のコーティングを体験し、本の並べ方も知ることができました。またこのような機会があれば、参加したいです。
- 勉強する人のために2階に辞書を多く置いたり、お年寄りのために医療の本を1階に多く置いたり、たくさんの配慮をしていることが分かりました。

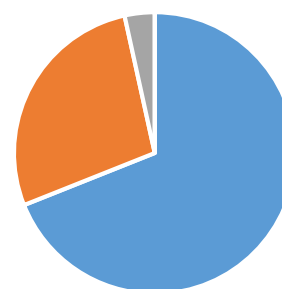


4 参加者アンケート

①なぜこの事業に参加しようと思いましたか。

	回答数(人)	回答率
1 学校で配付されたチラシ	20	69%
2 先生からの紹介	8	27.6%
3 友達からの紹介	1	3.4%
4 その他	0	0.0%
5 無回答	0	0.0%

参加のきっかけ



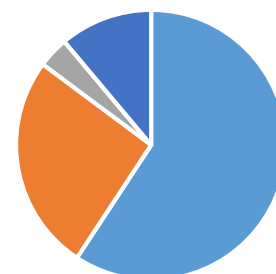
- 1 学校で配付されたチラシ
- 2 先生からの紹介
- 3 友達からの紹介
- 4 その他

②セミナーの活動を通して、気づき、学び、発見などはありましたか。

◆ボランティア講話 満足度 90.6%
N= 27

	回答数(人)	回答率
1 たくさんあった	16	59.3%
2 ややあった	7	25.9%
3 あまりなかった	1	3.7%
4 なかった	0	0.0%
5 無回答	3	11.1%

ボランティア講話

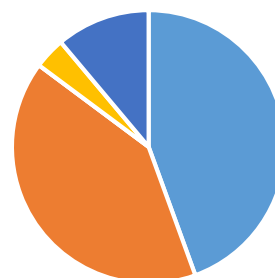


- 1 たくさんあった
- 2 ややあった
- 3 あまりなかった
- 4 なかった
- 5 無回答

◆サークル紹介 満足度 85.4%
N= 27

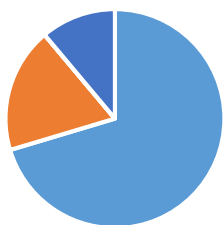
	回答数(人)	回答率
1 たくさんあった	12	44.4%
2 ややあった	11	40.7%
3 あまりなかった	0	0.0%
4 なかった	1	3.7%
5 無回答	3	11.1%

サークル紹介



- 1 たくさんあった
- 2 ややあった
- 3 あまりなかった
- 4 なかった
- 5 無回答

スキルアップ講座



- 1 たくさんあった
- 2 ややあった
- 3 あまりなかった
- 4 なかった
- 5 無回答

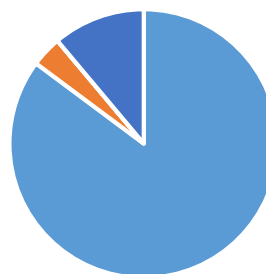
◆スキルアップ講座 満足度 94.8%
N= 27

	回答数(人)	回答率
1 たくさんあった	19	70.4%
2 ややあった	5	18.5%
3 あまりなかった	0	0.0%
4 なかった	0	0.0%
5 無回答	3	11.1%

◆フィールドワーク 満足度 99.0%
N= 27

	回答数(人)	回答率
1 たくさんあった	23	85.2%
2 ややあった	1	3.7%
3 あまりなかった	0	0.0%
4 なかった	0	0.0%
5 無回答	3	11.1%

フィールドワーク

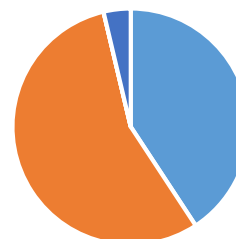


- 1 たくさんあった
- 2 ややあった
- 3 あまりなかった
- 4 なかった
- 5 無回答

③今後、ボランティア活動や地域活動に参加したいですか。

	回答数(人)	回答率
1 参加したい	11	40.7%
2 できれば参加したい	15	55.6%
3 あまり参加したくない	0	0.0%
4 参加したくない	0	0.0%
5 無回答	1	3.7%

ボランティア活動への参加

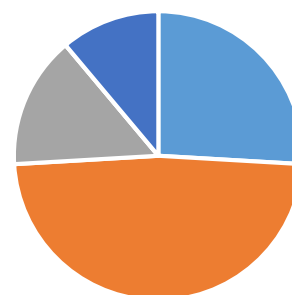


- 1 参加したい
- 2 できれば参加したい
- 3 あまり参加したくない
- 4 参加したくない
- 5 無回答

④今後、ボランティア活動や地域活動に参画したいですか。

	回答数(人)	回答率
1 参画したい	7	25.9%
2 どちらかというと参画したい	13	48.1%
3 どちらかというとならしたくない	4	14.8%
4 参画したいと思わない	0	0.0%
5 無回答	3	11.1%

ボランティア活動への参画



- 1 参画したい
- 2 どちらかというと参画したい
- 3 どちらかというとならしたくない
- 4 参画したいと思わない
- 5 無回答